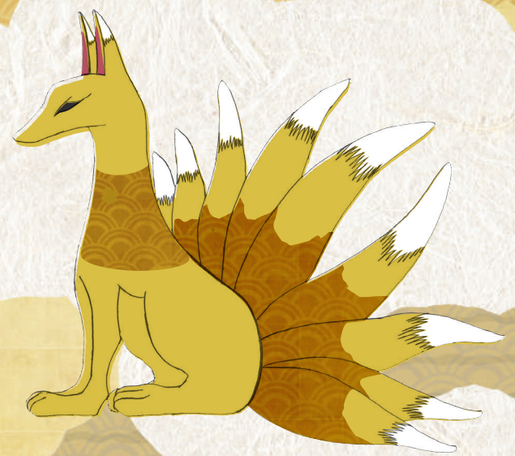
那須湯本

歴史・伝説

散策帖

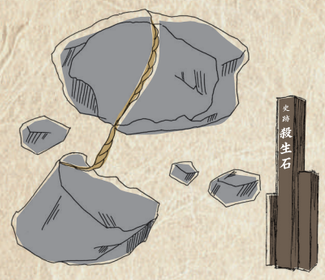


一般社団法人　那須町観光協会
https://www.nasukogen.org/

History of Nasu Onsen.

那須湯本の歴史

名所・旧跡散策マップ



Legend of the Sessyoseki : The Nine-Tailed Fox.

殺生石伝説　九尾の狐（せっしょうせきでんせつ　きゅうびのきつね）

長い間、中国やインドで悪行を行ってきた九尾の狐は、幼子に化け遣唐使の船で日本に渡り、その後才色兼備の玉藻の前として鳥羽院に仕えましたが、それ以降、鳥羽院は病にかかり日に日に悪くなるばかりでした。
不思議に思った陰陽師の阿部泰成が調べたところ、玉藻の前が九尾の狐の化身と分かり、鳥羽院の病が治るよう祈祷を行うと、正体がばれた玉藻の前は白面金毛九尾狐に姿を変え那須野が原へと逃げていき、そこでもまた悪行を繰り返しました。朝廷の狐退治の命を受け、那須野が原へ赴いた1万5千もの大軍により九尾の狐は射止められますが、石に姿を変え毒を吐き人々を苦しめ続けます。これを伝え聞いた源翁和尚が那須へ赴き、毒石に向かって経文を唱えると石は3つに割れて飛び散りました。
そのうちこの地に残った一つが殺生石と呼ばれています。
　松尾芭蕉は弟子の曾良と共に「おくの細道」の途中で立ち寄り、殺生石を前に「石の香や 夏草赤く 露あつし」の句を残しています。
2022年3月には以前からヒビが入っていた箇所から真っ二つに割れてしまい、同月には慰霊祭並びに平和祈願祭を執り行いました。

Moujyaishi.

盲蛇石（もうじゃいし）

昔、五左ヱ門という湯守が冬越しの薪を取った帰り道、2m程の目の不自由な大きな蛇に出会いました。
「可愛想に、このままでは冬を越せないだろう」とカヤで小屋を作り入れてあげました。翌年の春になり小屋を訪れると蛇の姿はなく、キラキラと輝く湯の花がありました。「蛇の恩返し」と伝えられ、蛇の頭に似たこの石を盲蛇石と名付けました。

Shikanoyu.

鹿の湯（しかのゆ）

西暦630年、狩野三郎行広が狩りで射損じた白鹿を追い山奥に入ると白髪の翁が現れ、「私は温泉の神。あなたが追いかけている鹿はこの奥の温泉で傷を癒しています。この温泉は多くの人の病を救えるでしょう」と言って去っていきました。狩野はこの温泉を鹿の湯と名付け「那須ゆぜん大明神」を建立しました。栃木県では最初、全国でも32番目に発見された温泉です。

Kyoudenjizo Sentaijizo.

教伝地蔵　千体地蔵（きょうでんじぞう　せんたいじぞう）

白河五箇村の蓮華寺に預けられた不良少年の伝八は、教伝と名乗る住職になっても一向に素行が悪いままでした。ある日、教伝は那須温泉へ湯治へと出かけますが、旅立ち前に母が食事を差し出すと、「まだ旅支度が出来ていない」と、お膳を蹴飛ばして出かけていきました。那須温泉の賽ノ河原まで来たとき、あたりが急に曇り大地から炎と熱湯が噴き出し、教伝はその中へと落ちていきます。最期に「私は親不孝の天罰により火の海へと落ちていく、母を頼む」と言い残しました。親孝行や供養をすることを忘れない戒めとして教伝地蔵が建立され、千体地蔵は現在に即し交通安全や家内安全等の願いを込めて、希望される方からの浄財を以って建立しています。なお、地蔵の手が大きいのは願いが多く叶うようにという意味が込められており、また全ての地蔵は教伝の生まれ故郷の白河を向いています。

Nasuyuzenjinjya.

延喜式内 那須温泉神社（えんきしきない　なすゆぜんじんじゃ）

那須湯本温泉バス停から徒歩1分、商売繁昌、家内安全、病気平癒、身体健全、縁結びの御利益があります。
また「平家物語」の「屋島の合戦」において、那須余一（のちの与一）が「～那須ゆぜん大明神、願わくはあの扇の真ん中を射させてくれ」と心願した神社であり、見事、舟に浮かぶ扇の的を射て名声をあげたことにまつわる神社としても有名です。三番目の鳥居は、その戦いの凱旋後に余一が奉献したものです。
その他、栃木の名木百選に選ばれている拝殿前の五葉松や、樹齢800年を越える御神木のミズナラ、松尾芭蕉が当地を訪れた際に詠んだ「湯をむすぶ誓いも同じ石清水」の句碑、さざれ石など、多くのスポットが敷地内にあります。

Kuizomedera.

喰初寺（くいぞめでら）

現在の新那須バス停からほど近い場所にあります。日蓮上人が立ち寄ったことから、お寺の中に「南無妙法蓮華経」の題目碑があります。寺の名前の由来ですが、当地に乳ばかりを飲み何も食わず言葉を発することもない、10歳になる子供がいました。心配になった親は、この題目碑の下で題目を唱え、碑に生えていた苔を水に浸し我が子に与えたところ、あっと声を上げてそれを口にし、それ以来普通の子供と同じようになったという言い伝えによるものです。